



枚方市キャラクター
ひこぼしくん

おすすめの こどもの本 2024

- 2022年11月から2023年10月に出版された本の中から、特におすすめする本を選びました。子どもの本に関わる大人の方へ向けて紹介しています。
- 本の情報は、書名、著者名、出版社名、図書館での分類記号、対象年齢の順になっています。

2024年4月発行 発行者:枚方市立中央図書館
電話:050-7105-8121 FAX:072-851-0962

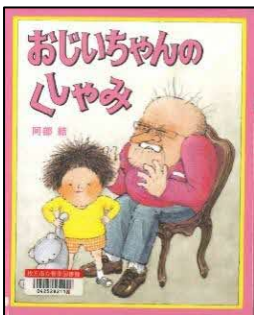


↑図書検索は
コチラから!

おじいちゃんのくしゃみ

阿部 結/作 福音館書店

エホナーアハ 【幼児～小学校低学年】



おじいちゃんと孫娘のほほえましいお話です。おじいちゃんが、「あーちよーん」とくしゃみをする、りんごの実を全部落とせ、猛獣が追い払って、空を飛べるとおじいちゃんはいいます。

表情豊かな迫力のある絵と、空想と現実が入り交じるストーリーが面白い絵本です。

ゆうやけにとけていく

ザ・キャビンカンパニー/作 小学館

エホナーサキ 【小学校低～中学年】



ゆうやけは、毎日どんなところにもやってきます。お母さんと手をつないで歩く子のところ、ジャングルジムのてっぺんでばんざいをする子のところにも。ゆうやけはみんなの一日のよろこびとかなしみを静かに見守っています。

やがて、さまざまな色合いを見せていたゆうやけは空にとけていき、星がかがやく静かな夜がやってきます。

すしん

たなか ひかる/作 ポプラ社

エホナータナ 【小学校低学年～中学生以上】



お寿司の前に車輪が1つあります。お寿司が車輪に乗っかると、お寿司は水を得た魚のように「すしーん」と勢いよく走り出しました。

時にネタを奪われ、時に仲間と合体し、困難を全力で駆け抜けていくお寿司たち。波乱の展開に目が離せません!子どもから大人まで、想像力を働かせながら楽しめる1冊です。

おばあちゃんちのふしぎなまで

シビル・ドラクロワ/さく 石津 ちひろ/やく

ほるぷ出版 エホナートラ 【小学校低～中学年】



毎年夏に1週間だけおばあちゃんの家で過ごす女の子は、お昼寝をするとびっくりすることが起こることに気づきます。音やにおいに誘われて窓を開けると、そこには見たこともない風景が見えます。

でも目が覚めるとそれは郵便屋さんが玄関のベルを鳴らす音だったり、おばあちゃんがお菓子を焼くにおいでだったりします。日常の一コマにとけ込んだ世界的な名画に、知らず知らずのうちに触れられる絵本です。

どうぞめしあがれ！

佐野・ブーゼルダ・マリア／原案
松田 奈那子／文と絵 ほるぷ出版
エホナーマツ 【幼児～小学校中学年】



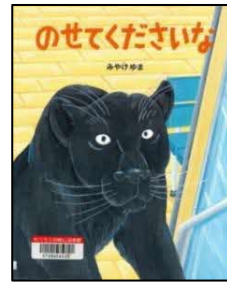
モロッコには、おいしいものや楽しいことはみんなで分け合おうという文化があります。マリアたちが住む海辺の町でも、おすわけはあたりまえの風景。

マリアは、お母さんが

作った日本料理のからあげを、友だちのアミンの家へ届けます。人と人を繋ぐ素敵なお言葉「ピサハウラハ！（どうぞめしあがれ！）」は、今日も町のそこら中から聞こえてきます。

のせてくださいな

みやけ ゆま／作 BL出版
エホナーミヤ 【幼児～小学校低学年】



ある日、バス停でクロヒョウがバスを待っていました。乗り物に乗って見たかったのです。運転手さんは「おぎょうぎよくするならいいですよ」と乗せてくれました。しかし、クロヒョウは大きなくしゃみをして

しまい、乗客に吠えたと勘違いされて、バスから降ろされてしまいます。でもクロヒョウはあきらめません。クロヒョウと人々とのユニークなやりとりを楽しめる絵本です。

ぼくのじゃがいも

ジョシュ・レイシー／作 モモコ・アベ／絵
みやさか ひろみ／訳 こぐま社
エホナーモモ 【幼児】



ペットがほしいと訴えるアルバートにパパが差し出したのは、なんとじゃがいも！おじゃがと名づけられました。はじめはパパの冗談だと言って取り合わないアルバートですが、だんだんおじゃがと一緒に遊ぶようになります。

ところがおじゃがは傷んでしまいました。寂しいけれど、アルバートがさよならを言っておじゃがを土に埋めると……？読んでいるうちに、思わずおじゃがに愛着をもってしまふ絵本です。

かえでちゃんとひみつのノート

大久保 雨咲／作 植田 真／絵 小峰書店
ヤサシーオオ 【小学校低～中学年】



引越して、新しい学校へ通うことになったかえでちゃん。仲良しのみっちゃんから貰ったノートに、「もじゃりん」という名前のクマのような絵を描きました。新しい学校では、なかなか友達ができません。

かえでちゃんの友達も、もじゃりんだけです。もじゃりんはノートの中から、かえでちゃんの様子を見守ります。しかし、クラスメイトに「ひみつのノート」が見つかり、変と言われてしまいました。

そんなのうそだ！

ジーン・メルル／作 小宮 由／訳
坂口 友佳子／絵 岩波書店
ヤサシーメリ 【小学校低～中学年】



ミャンマーという国のある村になまけものサルとブタとキツネが住んでいました。三匹は働きもせず茶店で客にほら話を聞かせてごちそうになっていました。ある日、お金持ちのイヌがやってきたので三匹はだましてごちそうさせようと相談し、

順番に信じられない話をして「そんなのうそだ！」と言わせた方が勝ちという勝負を持ちかけました。ところが、イヌの話には、絶対負けなとんでもない結末が隠されていました。

ぼくらの胸キュンの作り方

神戸 遥真／著 木乃 ひのき／画 講談社
Fーコウ 【小学校高学年～中学生以上】



サッカー部の日向には、少女漫画が好きで小説サイトに恋愛小説を投稿しているという、友人にも隠している秘密があります。ところが、それがクラスメイトで美術部の唯斗にばれてしまいました。少女漫画雑誌の月例賞に応募したいという

彼に協力し、日向は投稿作の原作担当を務めることになります。唯斗と一緒に少女漫画を作る中で、日向は家族や自分自身の言う「男らしさ」とは何かについて考えるようになります。

雪の日にライオンを見に行く

志津 栄子／作 くまおり 純／絵 講談社

【Fーシス】【小学校高学年～中学生以上】



小学5年生の唯人は、人と話すことが苦手です。ある日、梓という転校生が来て、クラスメイトは梓に声をかけますが、梓は取り合おうとしません。そんな梓に唯人は親近感を覚え、次第に打ち解けていきます。年末年始の家族とのやり取り

を通して、唯人は祖父が中国残留邦人として抱えてきた悩みや葛藤・背景を知り、梓の抱えている孤独に寄り添い、「孤独」を通して自分の居場所やふるさとと向き合う、ささやかな初雪のものがたりです。

おとな体験授業？

なかがわ ちひろ／作 アリス館

【Fーナカ】【小学校低～中学年】



学校の特別授業で「おとな体験授業」をおこないました。自分はどんな大人になりたいかを紙に書いて不思議なランプで熱した金色の液体の中に入れました。すると、白いゆげが立ち込めて、子どもたちは大人になっていました。

ところが、他の子どもが希望した職業と入れ替わっていました。思ってもいなかった仕事でしたが、それぞれの仕事の良さや苦勞など思わぬ体験をすることになりました。

エツコさん

昼田 弥子／作 光用 千春／絵 アリス館

【Fーヒル】【小学校高学年～中学生以上】



エツコさんは真奈ちゃんのおばあちゃん。昔は小学校で先生をしていて、家庭訪問の時間に遅れたことは一度もないしっかりものの先生でしたが、最近ぼんやりした表情をすることが多くなりました。昔のことはよく覚えているけれど、今の

ことはあまり覚えていないようです。エツコさんと小学生たちとの交流から、忘れてしまってもきっと確かにその時にはあった大切なものに気づくことができる連作短編集です。

わたしはスペクトラム

リビー・スコット／著 レベッカ・ウエストコット／著

梅津 かおり／訳 小学館

【Nースコ】【小学校高学年～中学生以上】



10歳の女の子タリーは、自分の心から突き上げてくるものを止められず、姉の命令口調の言葉に傷ついて暴れてしまうことが度々あります。周りから人とは違うと言われるタリーは「人と違う。私は私だ。病気なんかじゃない。」と思っ

ていますが、親たちは、タリーが自閉症スペクトラムではと疑います。人と違うってなんだろう、ありのままに生きるってなんだろうと問いかける1冊です。

起業家フェリックスは12歳

アンドリュー・ノリス／著 千葉 茂樹／訳

あすなろ書房 【Nーノリ】

【小学校高学年～中学生以上】



ビジネスをするのが好きな12歳のフェリックスは、友達のモーが描いてくれたカードに人気が出たことをきっかけとして、一緒にカード販売のショップ「カードマート」を始めました。

知らないことにつきあたるたび、他の誰かの力も借りながら、フェリックスのビジネスはどんどん成長していきます。自分でお金を稼ぐことについて、面白く学べる物語です。

箱舟に8時集合！

ウルリヒ・フーフ／作 イョルク・ミュレ／絵

木本 栄／訳 岩波書店

【Nーフフ】【小学校中～高学年】



仲良しのペンギン3羽は、突然ノアの箱舟に乗るように言われます。でも、箱舟に乗れるのは2羽だけ。そこで、チビペンギンをスーツケースに押し込んで乗船します。途中で何度もバレそうになりますが、なんとか新しい世界にたどり着きます。

軽妙な会話ながら、いつの間にか神の存在について語ったり、ペンギンとハトのカップルが誕生したり、さりげなくジェンダーフリーについてもふれています。

うかぶかな？しずむかな？

川村 康文／文 遠藤 宏／写真 岩崎書店
チシキ 423 【幼児～小学校低学年】



野菜やお菓子、おもちゃにボールにペットボトル、おうちにあるものをなんでも水に浮かべてみたら、浮かぶかな？しずむかな？目には見えない浮力について、身近なもので体験できる科学実験絵本です。

子どもたちの好奇心をくすぐること間違いなし！一緒にページをめくりながら、浮かぶかな？しずむかな？と考えてみましょう。

キャンピングカーのたび

みねお みつ／作 福音館書店
チシキ537 【小学校低～中学年】



男の子は、おとうさんとキャンピングカー「のろのろ号」に乗ってキャンプ場へ出発しました。「のろのろ号」は小さくて遅いですが、ご飯を食べたり寝たりすることができて、まるで秘密基地のようです。

旅の途中で、別のキャンピングカーに出会い、どのような機能があるか教えてもらいます。親子の旅行を通して、キャンピングカーの仕組みについてくわしく知ることができる絵本です。

カタリン・カリコ

増田 ユリヤ／著 ポプラ社
289カ 【小学校高学年～中学生以上】



新型コロナワクチンを開発し、多くの人々を救ったカタリン・カリコ。ハンガリーの自然の中で育った彼女は、移住先のアメリカで、女性であり、かつ外国人であることからいじめられない差別を受け、社会的にも経済的にも苦しい立場に立たされます。

厳しい状況でも悲観することなく、研究を続けた彼女の思いとは何だったのでしょうか。「真の科学者」の生き方と研究を綴るノンフィクション作品です。

海にしずんだクジラ

メリッサ・スチュワート／文 ロブ・ダンラヴィ／絵
千葉 茂樹／訳 藤原 義弘／日本語版監修
BL出版 チシキ 481 【幼児～小学校高学年】



70年生きて海の底に沈んだ一頭のクジラは、50年かけて跡形もなく食べつくされました。クジラの死体は、深海の何百種類もの生き物の命を支えるすばらしい贈り物になったのです。

近年発見された「鯨骨生物群集」という生物群の研究をもとに、食物連鎖を美しい深海ブルーの中で描いた知識絵本です。最後に鯨骨に集まった生物たちの解説もあり、個性的な姿が楽しめます。

読書バリアフリー

読書工房／編著 国土社
020 【小学校高学年～中学生以上】



2020年の「読書バリアフリー法」制定以来、全国の図書館で一人一人異なる「読みやすさ」「わかりやすさ」の実現が共通の課題となりました。本書はそのヒントを示すとともに各種バリアフリー図書を豊富な写真と当事者へのインタビュー等を交えて紹介しています。

読書が困難な人にとっては自分にあった読書のカチチを見つけることが重要です。本書は、そのためのガイドブックとして活用できる一冊です。

世界でいちばんリクエストのおおいくつ屋さん

十河 孝男／文 十河 ヒロ子／文 本田 亮／絵
合同出版 369 【小学校中～高学年】



手づくり工場の経営者のそごうさんは、友だちのいしかわさんに老人ホームのお年よりのために“ころびにくいつつ”を作ってほしいとたのまれました。くつ屋さんでもできなかったくつ作りに挑戦します。

2年かけて、ようやくお年よりたちが満足するくつが出来上がりました。さらに、そごうさんは、10人に一人の左右の足の大きさがちがう人のために新しいくつのとどけ方を考えだしました。